

琉球大学における大学院教育(修士課程・博士課程・博士前期課程・博士後期課程
・専門職学位課程)で用いる科目番号に関するガイドライン

1 大学院教育における科目番号の在り方

- (1) 全ての修士課程、博士課程、博士前期課程、博士後期課程及び専門職学位課程に付番する。
- (2) 大学院教育プログラムを基本とする一定の枠組みごとに科目番号の設定を行う。その際、研究科・専攻等の枠組みと大学院教育プログラムの枠組みが異なる場合においても、可能な限り大学院教育プログラムの枠組みに配慮する。
- (3) 教育課程の体系性・順次性を明示する観点から、科目番号の始めに該当する研究科・専攻・領域・分野等の文字コードを付す。

2 科目番号の構造

全ての授業科目には、研究科名等を表すアルファベット文字コードと5つの数字からなる数字コードで構成される科目番号が与えられる。なお、数字コードは 11010 番以上の番号とし、5桁目は初期設定で一律に0を付し、今後科目の改廃・追加等の必要に応じて活用する番号とする。

ABC DEF 1 2 3 4 0

①	②	③	④	⑤	⑤	⑤
---	---	---	---	---	---	---

①研究科コード(アルファベット文字)

最初の2～3文字(大文字アルファベット)は、その授業科目の開設に責任を持つ大学院研究科の英語名の省略文字とする。

研究科	研究科コード
地域共創研究科 (Graduate School of Community Engagement and Development)	CED
人文社会科学研究科・博士前期課程 (Graduate School of Humanities and Social Sciences)	HSS
観光科学研究科 (Graduate School of Tourism Sciences)	TRM
人文社会科学研究科・博士後期課程・比較地域文化研究専攻 (Comparative Culture and Area Studies)	CAS
医学研究科 (Graduate School of Medicine)	MED

保健学研究科 (Graduate School of Health Sciences)	HSC
理工学研究科 (Graduate School of Engineering and Science)	ES
農学研究科 (Graduate School of Agriculture)	AGR
法務研究科 (専門職学位課程)(Graduate School of Law)	LAW
教育学研究科 (専門職学位課程)(Graduate School of Education)	EDU

②プログラム・コース等コード(アルファベット文字)

研究科コードに続くアルファベット文字は、研究科内のカリキュラム単位のまとまり(専攻、コース、分野等)を小区分で表す。

③課程コード(数字:1～3)

授業科目が置かれている大学院教育課程を表し、修士課程、博士課程、博士前期課程、博士後期課程及び専門職学位課程の課程ごとに分類する。

課程コード	定義
1	修士課程、博士前期課程
2	博士課程、博士後期課程
3	専門職学位課程

④受講段階コード(数字:1～7)

授業科目の履修を推奨する学年や受講段階を表す。年次・学期ごとに科目配当が決まっている場合には、「1」から「7」の数字を下記の要領で区別し付番する。

受講段階コード	受講段階(学年・学期)
1または2	1年前学期、1年後学期、または1年次通年などの配当時期を示す必要がある場合に適宜用いる。
3または4	2年前学期、2年後学期、または2年次通年
5または6	3年前学期、3年後学期、または3年次通年
7	4年次

なお、「1年～2年次」、「1～3年次対象」のように特に年次指定が無い場合には、(1年次必修科目と区別できるため)対象の高年次に合わせて付番することを原則とする(例:博士前期課程1～2年次対象科目の場合は 14010～を付番、博士後期課程1～3年次対象科目の場合は

26010～を付番)。しかしながら、それぞれのプログラムのカリキュラムの特性や提供科目全体のバランスを踏まえ、「体系性・順次性」の点で支障が無いと判断する場合には、特に高年次対象番号に合わせなくてもよいこととする。

⑤科目コード(数字:010～999)

大学院教育プログラムの枠組みを考慮し、規則性を持つように設定する。原則的に便覧の科目一覧表は、科目番号の順に表示する。